

令和4年度事業計画

<重点目標>

一般社団法人 下関観光コンベンション協会の組織の強化と活動の一層の充実を図るため、次の事項を新年度重点目標として取り組んでまいります。

1. 組織体制の強化

- (1) 理事会、三役会等による協会体制強化
- (2) コアメンバーによる問題解決会議の開催
- (3) 働く意欲の増進につながる職員待遇等の環境改善による事務局体制の強化

2. 官民協力体制の強化

- (1) 役割分担、協力体制の再確認
- (2) 協力体制の強化、再構築

3. 財政基盤の強化

- (1) 新規会員の加入促進
- (2) 旅行業等による収益事業の取り組み強化
- (3) 上臈道中事業の収支健全化

4. 観光振興事業の強化

- (1) コロナ禍並びにコロナ後を見据えた適宜適切な観光振興策の実施
- (2) しものせき観光キャンペーン事業の取り組み強化
- (3) 体験型観光の充実整理に向けた取り組み強化
- (4) 修学旅行や周遊観光への取り組み強化
- (5) 他団体との連携強化
- (6) コロナ後を見据えた大型クルーズ船客の周遊促進等、外国人観光客誘致策強化
- (7) 「食のまち 下関」「三つの日本一 ふく、くじら、あんこう祭り」等の情報発信強化

5. MICE誘致の強化

- (1) コロナの状況を正確に捉えた上での戦略的なMICE誘致推進事業の取り組み強化
- (2) MICEの的確なサポート実施による評価獲得

令和4年度の当協会の事業実施に際して、新型コロナウイルス対策等での基本理念としては、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症に対して過度に恐れることなく、正しい情報を取得し正しく恐

れることを第一とします。当然、コロナ感染症防止対策は正しく実施した上で、コロナ禍並びにアフターコロナの状況における最善の観光でのおもてなしとは何かを考えて、実践してまいります。

重点目標の一つ目、組織体制の強化については、引き続き理事会、三役会等により体制の強化に取り組むとともに、「会員及び収益収入増強改善検討会議」や「先帝祭上臈参拝道中問題改善検討会議」等のコア会議を引き続き実施し、協会のなすべき事業を戦略的且つ確実に進めてまいります。特に前例のないコロナ禍による協会員の皆様の状況改善に向けて、会員の皆様の様々な意見を取り込んで、適宜適切に動くことのできる組織体制の強化に努めてまいります。事務局体制についても、引き続き働く意欲の増進につながる職員待遇等の環境改善を実施するとともに、旅行業などの資格取得や継続のための研修にも積極的に参加できるような体制作りに取り組んでまいります。

重点項目の二つ目、市や県等との官民協力体制の強化については、下関市全体の観光振興推進において、特に車の両輪ともいべき市と当協会相互で定期的協議を実施、両者の役割分担、協力体制を再確認し、より強力な体制の実現、再構築に繋げてまいります。

重点目標の三つ目、財政基盤の強化については、新規会員の加入促進とともに、協会が資格を有する旅行業を中心とした収益事業等への取り組みを引き続き強化してまいります。

重点目標の四つ目、観光振興事業の強化については、コロナ禍並びにコロナ後を見据えた適切な観光振興策を実施することを柱として、本協会が会長並びに事務局を務める「しものせき観光キャンペーン実行委員会」において中心的な役割を果たせるよう全力で取り組みます。2022年のキャンペーンテーマ「まだまだ知らない！見たことのない！！とっておきの下関！！」に沿った事業を着実に実施してまいります。また、2023年のキャンペーン企画についても、当協会が中心となり企画できるように準備を進めてまいります。

2021年に初開催した「三つの日本一 ふく、くじら、あんこう祭り」についても、当協会を中心として、飲食、宿泊、観光全ての関係団体で取組を強化し「食のまち 下関」を代表するイベントとなるべく努力を傾注してまいります。

体験型観光や修学旅行の促進も継続してまいります。加えて、市内の各観光協会やモア下関等、他団体との連携を密にし、共同で観光振興策を展開してまいります。コロナ後を見据えたクルーズ客船や外国人観光客の誘致策も継続してまいります。

重点目標の五つ目、官としては取り組みにくく、一方で経済波及効果の高いMICE誘致については、引き続き本協会でも積極的に取り組んでまいります。令和3年度は令和2年度と同様に開催予定であった学会等のコンベンションの、大多数が中止となりました。但し、コロナ禍が落ち着きを見せていた令和3年10月に入り、主催者からのMICE開催の問い合わせが急増しており、コロナの状況次第で近い将来の大幅な回復も見込まれます。それでも、コロナ禍による新しい生活様式への変化により、コンベンション自体が従来の現地開催から

WEB開催やWEB開催と現地開催を組み合わせたハイブリッド開催への移行することも考えられます。当協会においても各学会事務局やキーパーソンとの意思の疎通を図りながら、ハイブリッド開催に備えた体制強化も並行して実施してまいります。

これらの取組により、本市の歴史・自然・食と豊富な観光資源を最大限活用し、観光・コンベンション事業を通して交流人口の拡大を図り、地域活性化の推進、元気でホスピタリティあふれるまちづくりに努め、観光都市&コンベンション都市No.1を目指します。加えてまず何よりも、下関観光コンベンション協会の会員の利益に繋がり、会員の信頼に応えることのできる協会となるべく努力してまいります。

<事業内容>

1. 観光客の誘致促進と物産等の紹介宣伝及び観光行事の開催・助成事業

- (1) しものせき観光キャンペーン事業
- (2) 観光宣伝事業
- (3) 先帝祭上臈道中事業の伝統保存並びにPR事業
- (4) 三つの日本一 ふく、くじら、あんこう祭り開催
- (5) コロナ感染による観光客落ち込み回復に向けた対策事業
- (6) 体験型観光推進
- (7) 周遊観光ルート作成、推進
- (8) 修学旅行誘致促進
- (9) 関門海峡花火大会への協力
- (10) 馬関まつりへの協力
- (11) ふくの日まつり及びふく供養祭への協力
- (12) 郷土芸能保存育成事業
- (13) その他各種地域観光行事への協力

2. 観光に関する調査研究並びに情報収集・発信事業

- (1) ホームページの充実、外国語対応等
- (2) facebookの充実
- (3) マスコミ（テレビ、雑誌等）活用による情報の提供
- (4) 観光関係資料の収集と調査研究
- (5) 会員からの積極的情報収集及び発信

3. 観光資源の保存及び開発事業

- (1) 紅葉館管理運営
- (2) 観光資源等調査

4. 観光客への利便提供と接遇の向上に必要な事業

- (1) 下関港国際ターミナル観光案内所の管理運営
- (2) JR 下関駅、新下関駅観光案内所の管理運営
- (3) 観光ガイド・観光案内所職員の育成
- (4) 観光サービス講習会の開催

5. 観光事業関係団体及び観光機関との連携事業

- (1) 市・県等の公的関係機関との協力並びに連絡調整
- (2) 県内外、各観光・コンベンション等団体との協力並びに連絡調整
- (3) 日本観光振興協会等との連絡調整
- (4) 市内各種団体との協力並びに連絡調整

6. M I C E 誘致推進事業

- (1) M I C E の誘致及び支援活動
- (2) M I C E の広報及び宣伝活動
- (3) M I C E の調査及び企画
- (4) M I C E の情報収集及び提供

7. 国際観光事業

- (1) 外国人観光客の誘致並びに滞在促進事業
- (2) W e C h a t (中国向け)、f a c e b o o k (台湾向け) の充実
- (3) 関門港クルーズ振興協議会事業
- (4) 外国人観光客向け観光案内業務の充実
- (5) 大韓民国姉妹締結協会等との交流事業

8. 収益事業の開発と財政基盤の強化

- (1) 会員入会促進
- (2) 新たな収益事業の検討及び実施
- (3) 旅行業・委託事業における収益確保、拡大
- (4) 観光カレンダー、名刺台紙、先帝祭クリアファイル、ふく刺し缶バッチ、
絵葉書、ふく刺しTシャツ等の販売
- (5) 関門トンネル人道口売店管理業務等